

# 一橋戦 部便り

## 目次

1. 一橋戦 講評
  - 1.1 監督より
  - 1.2 主将・女子主将より
2. 一橋戦 試合経過
3. 選手の言葉
4. 試合結果
5. 自己記録更新者一覧
6. 2017年度部内五傑
7. 2017年度東大記録更新者一覧
8. 主務より

## 1. 一橋戦 講評

### 1.1 監督より

#### 監督・藤田靖浩

今回の一橋戦、女子三大戦は男女ともに総合優勝。女子は選手が少ないなか専門外の種目へも積極的に出場し、最終種目の4×100mリレーで逆転することが出来ました。

記録としては一年栗原が走幅跳で6m98等、例年自己記録を更新する選手が少ない試合ながら、フィールド中心にある程度自己記録を更新した選手も見られました。

まだまだ全体的にベースアップの必要がありますが、約1ヶ月後の京大戦では必ず勝利すべく、引き続き部員一同練習に励んで参ります。

### 1.2 主将・女子主将より

#### 主将・寶田雅治

七大戦でシーズンの前半が終わり、後半の初戦として一橋戦に臨みました。各パート合宿をこなした直後の難しい状況での試合となりましたが、男女ともに勝利を収めることができました。

全体としてコンディションが整わない試合ではあったものの、地力をつけた選手がコンディションに左右されない力を発揮できるようになってきたという印象を受けました。特に、3年投擲の佐竹が円盤投で自己ベストの34m79、1年栗原が走幅跳で6m98とインカレ2部B標準まであと2cmと迫る自己ベストを出し、全体の流れを引き寄せる活躍をしてくれました。京大戦まで残り1ヶ月となっている中で今回浮き彫りとなった課題は調子の波が激しい選手が多すぎるという点です。難しい時期での試合ではありましたが、そこを考慮しても記録があまり良くない選手が散見されました。調子のいい時の原因をきちんと考察してそれを再現する力が足りてないことが原因だと考えられますが、東大陸上部として今後力を蓄積していくためには必ず必要なことだと考えています。京大戦までには絶対に修正してベストパフォーマンスで臨めるようにしっかり合わせて行きます。

最後に、今シーズン残り少ないですが、全力で対校戦を戦いますのでOB・OGのみなさまには今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻のほどをよろしくお願いいたします。

## 女子主将・坪浦諒子

この度の三大戦は、一橋大学から女子選手のエントリーが皆無だったため津田塾大学との二校対校となりました。エントリー人数に関わらず6点制の試合であるため、競技力のある大学が勝つというよりも人数を揃えられた大学が勝つ、という要素の強い試合になりました。今回女子パートとしては、各自の専門種目に集中して出来る範囲で専門外の種目にも挑戦するというスタンスでこの三大戦に臨みましたが、勝てる試合ではどんな状況でも負ける訳にはいきません。今回の状況を想定してフルエントリーして臨まなかったこと、その結果最終種目終了まで優勝を確定出来なかったことは反省すべき点だと考えております。最終的には津田塾大学とは同点ではありながら、優勝種目数によって東大が総合優勝出来ました。スムーズな勝利ではなかったものの、最後まで勝ちに拘って諦めずに取り組んだことは評価出来ることだと思っております。

来たる京大戦は7種目での闘いとなります。そのうち5種目が短距離・フィールド種目であり、現在女子パートは8人中6人が中距離選手であるため専門外種目への挑戦が必須となります。専門種目以外においてもチームが勝つために自分の果たすべき役割を把握して、全員で勝利を掴んでいく所存です。また、多くの種目で優勝が出来ると見込んでおりますが、京都大学側も必ず勝とうと挑んでくることだと思います。一瞬の気の緩みが命取りになることを肝に銘じて、残り一か月全力で取り組んでいきます。今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 2. 一橋戦 試合経過

### ◎トラック種目

#### 10:00 男子 100m 決勝

対校男子 100m はこの日最初の対校種目として行われた。日差しが照ってきて暑くなってくる時間で暑さへの対策も重要となった。

東大からは2レーンに影山(2年)、4レーンに聲高(1年)、6レーンに阿久津(2年)が出場。資格記録では聲高が2位、阿久津が3位、影山が6位となっており全員が自分より資格記録が上の一橋の選手に勝てるかどうかと

いうことが短距離の勝ち越しへの鍵となった。

スタート直後から5レーンを走る一橋の選手が飛び出しそれを追いかける展開となった。聲高、阿久津は後半追い上げるもトップには及ばずそれぞれ2位、4位でフィニッシュ。影山は6位に終わった。記録は追い風0.1mの中、聲高が11"25、阿久津が11"27、影山が11"48であった。

順位を見ると資格記録の順とさほど変わらないが、各人がベストタイムからかなりタイムを落としてしまい内容が良くないという結果になってしまった。この反省を生かして今年最後の対校戦となる京大戦でいい走りを見せてくれることに期待したい。

#### 10:40 女子 100m 決勝

1組のタイムレース決勝で行われ、東大からは3レーンに内山(2年)、6レーンに坪浦(4年)が出場した。

内山は、スタートからの起き上がりが早く序盤で加速しきることができず2レーンの選手にリードを許してしまう。後半はスピードを落とさずに追い上げを見せたが一步及ばず、12"87の2位(着差)でフィニッシュ。坪浦は、30mまでで2レーンの選手と内山に大きく離され5レーンの選手と3番手争いをする格好となったが、低い姿勢を維持しながらスムーズに加速してリードすると、その差を守り13"30の3位でフィニッシュ。この時の風は+0.8mであった。内山は5点、坪浦は4点獲得。

#### 10:55 男子 1500m 決勝

近藤(3年)、長谷川(3年)、小野(2年)の出場。気温も高すぎず比較的走りやすい中でのスタートとなった。より多くの得点を得るためには、一橋の1番手・2番手に対して小野、長谷川がどこまで食い下がるかが鍵となる。

スタートと同時に近藤が前に出て小野は3番手、長谷川は最後尾につける。400mの通過は近藤が62"7、小野が63"2、長谷川が64"0。500mあたりから長谷川はきつくなり遅れ始める。700mあたりで近藤と一橋の一番手が飛び出した。800mまでの1周は近藤が65"1、小野が65"8、長谷川が67"0だった。ここで位置取りも落ち着き近藤は先頭、小野は3位集団の先頭となる。そのままの並びで1200mまでの1周は近藤が64"6、小野が67"8、長谷川は71"3。1300mあたりで近藤は一橋の選手に前に出ら

れるが、最後の直線で冷静に抜き返し、4'00"88の1位でゴールした。小野も必死のスパートで前二人の一橋の選手に挑むもわずかに及ばず4'03"74の自己ベストで4位。長谷川も本調子とは言えない中の初対校だったが、最後まで走り切り4'17"70の6位だった。

東大としては合計5点を獲得した。次の京大戦はより厳しい戦いとなることが予想されるが、しっかりと練習を積み作戦も立てて1点でも多く稼ぎたい。

### 11:20 女子 1500m 決勝

藤原(3年)、高石(3年)の出場。日は照っておらず、走りやすい気候であった。東大から2名、津田塾大から2名の合計4名でのレースだった。参考記録では高石が1番手、藤原が2番手であり、1位、2位を独占することが期待された。

高石はスタート後すぐに飛び出して終始独走し、一周ごとのラップは72"-76"-78"で少しずつペースを落としてはいるが、前半で稼いだリードを後半も維持して4'43"83の1位でゴール。藤原は津田塾の2人と3人の集団を形成し、1周目は80"。2周目に入り津田塾の1人が遅れ始め、集団は2人になった。2周目のラップは82"。1000m手前付近で藤原がペースを上げて津田塾大の選手を引き離し、3周目のラップは78"。そのまま2位を独走し、4'59"88の2位でゴール。

高石の記録は以前の大会記録を10秒更新する好記録であり、今後の全カレの800mや京大戦での活躍に期待したい。藤原はしっかりと勝負に勝ち、記録としてもこの夏に出したPB+2秒であり、悪くない。今後しっかりと練習を積みばさらにPBを更新することができるだろうし、京大戦での活躍も期待できる。

### 11:40 男子 400m 決勝

2レーンに長久(4年)、4レーンに河野(4年)、6レーンに小嶋(3年)の出場。気温も湿度も高く決して良いコンディションではなかったが、資格記録で上位を独占しているだけに上級生の意地を見せてしっかりと上位を独占し、東大の勝利を引き寄せてほしいところであった。

スタートで勢いよく飛び出したのは6レーンの小嶋。第二コーナーで速くも外側の選手より前が出る。バックストレートで河野、長久もしっかりとスピードに乗り、1

～3位でホームストレートへ。ラストで一橋の選手に差をつめられるも力を見せて3者とも逃げ切り、小嶋が50"29で1位、河野が50"75で2位、長久51"36で3位と見事にスコルク勝ちで9点を獲得した。

### 12:00 女子 400m 決勝

3レーンに坪浦(4年)の出場。申請記録では坪浦が抜きん出ており、優勝が期待された。6レーンにエントリーしていた荒木(3年)は七大戦での怪我で欠場した。今年は一橋大からの出場選手がおらず、津田塾大の選手2人とともに3人でのスタートとなった。

号砲とともに軽快に加速。100m付近で5レーンの選手を捉え、バックストレートで他の選手を一気に引き離す。その勢いのままに後半を走りきり、1着でゴール。58"61の大会新記録を叩き出した。多くの種目に出場する中、疲れを感じさせない堂々とした走りでも6点を獲得し、チームに貢献した。女子の総合優勝につながる素晴らしい活躍であった。

### 12:20 男子 110mH 決勝

2レーンに松田(2年)、4レーンに村井(2年)、6レーンに中島(4年)の出場。資格記録では村井が1番、中島が4番につけており、松田も先のロンドン遠征の際に16秒前半をマークしており、高得点が期待された。

レースは村井がスタートから飛び出し、最後まで首位を守り切って16"05でゴール。松田、中島はともにスタートは一橋の選手と互角であったが、松田は徐々に差をつけて2位でゴールした。タイムは16"12。中島は10台目まで4番手だったが最後に一橋の選手にかわされて5位。タイムは16"97だった。なお、この時の風は+0.0mだった。

今回この種目で7点を獲得した。京大戦では厳しい戦いが予想されるが、今後の記録の上昇が期待される。

### 13:25 男子 4×100mR 決勝

4レーンに東大、5レーンに一橋の出場。東大は阿久津(2年)・聲高(1年)・影山(2年)・村井(2年)の走順で出場。4走に最近走力を上げてきた村井を起用する実験的な走順ではあったが、100mで不本意な結果に終わった後の3選手にとっても負けられないレースであった。

1走の阿久津はまずまずのスタートをきると、アウトレーンを走る一橋と互角のまま2走聲高へバトンパス。かなり詰まったバトンパスになったが、聲高はバトンを受け取ると順調に加速し一橋との差を詰めた。終盤、減速した聲高は鋭い飛び出しを見せた3走影山に追いつくことができず再び一橋に並ばれてしまう。影山は粘りの走りを見せて4走村井に一橋とほぼ同時にバトンパス。一橋の4走は100mの優勝者であり、序盤こそ村井は食らいついていくが中盤から徐々に引き離されて42"35の2位でゴール。

走力面では決して勝つのが難しいレースでなかっただけにバトンパスのミスが悔やまれる。京大戦に向けて怪我で離脱しているメンバーを含めた走力の底上げが急がれると共に、バトンパスの技術向上も重要な課題であることが認識される結果となった。

#### **14:55 男子 5000m 決勝**

近藤(3年)、阿部(2年)、栗山(2年)が出場。本来は松本(4年)が出走予定であったが、体調不良のため栗山に変更された。下馬評では東大有利、特に近藤は優勝が確実視された。当日は曇り時々晴れ、この時期にしては比較的涼しいコンディションの中でレースがスタート。

近藤は号砲とともに飛び出し、すぐに後続と大きく差をつける。阿部、栗山は第二集団で一橋の選手の outfing をうかがいながらペースを刻む。1000mを近藤は2'51"、阿部、栗山は3'10"で通過する。その後も近藤は先頭を譲らず後続と150m近い差をつけ2000mを5'49"で通過。阿部、栗山を含めた第2集団にも動きはなく、2000mを6'18"で通過した。独走を続ける近藤はその後ペースを落とし、3000mを8'57"での通過。第2集団は5人のまま3000mを9'27"で通過した。ここで待っていたかのように阿部がスピードを上げ、第2集団を引き離す。阿部の背後に一橋の選手が一人ついていき、第2集団が形成された。栗山は依然ペースを変えず、3人となった第3集団の中でスパートの機会をうかがう展開となった。近藤はペースをさらに落としながらもトップを守り、4000mを12'09"で通過。その後ろから阿部が引っ張る第2集団が12'29"で通過した。阿部は苦しい表情になってくるも、なおもついてくる一橋の選手を前に出させない粘りの走りを見せる。栗山は第3集団で淡々とペースを

刻み、4000mを12'39"。前には出ず、あえて一橋の選手に引っ張らせ逆転を狙う。ラスト一周に入り、阿部がスパート。しかし一橋の選手に喰い下がられ勝負を決めきれない。その間に近藤が15'17"87でフィニッシュ、見事優勝を飾った。阿部はラスト200mで再度スパートをかけて後続をついに引き離し、15'28"27で堂々の2位。栗山は残り400m時点でスパートをかけるも、逆に一橋の選手にスパートで抜き返され、15'46"73の5位であった。

全体としては7点を獲得し一橋との点差を広げる結果となった。また近藤の優勝や阿部の粘りの走りなど、収穫の多いレースであった。栗山も惜しくも得点には絡めなかったが、レースを支配する力がつけば今後の対抗戦や箱根予選会で活躍を見せてくれるであろう。

今回の対校戦の勝利で長距離パートは大いに盛り上がった。しかしこれに慢心することなく、京大戦や箱根予選会に向け、長距離全体としてさらなるレベルアップが期待される。

#### **15:20 女子 4×100mR 決勝**

5レーンに堀越(3年)-坪浦(4年)-内山(2年)-高石(3年)の走順で出場。スタート時には、やや日差しは和らいでいたが、依然として気温の高い状態が続いていた。対校戦の勝敗はこの最終レースまで纏れ込んでおり、4レーンの津田塾に勝てば、両者同得点となり1位種目数の差による優勝が決定するという状況であった。

1走の堀越は中距離ながらまずまずのスタートを見せたが、スピードの差は大きく、50m付近で津田塾に抜かされてしまう。2走の坪浦は安定した走りを見せて差をやや縮めたものの、3走の内山にバトンが渡った時点では依然として10m以上の差があった。しかし、内山がすばらしい猛追を見せ、外側のレーンからほぼ追いつく形で4走の高石にバトンが渡る。高石はスタートこそやや出遅れたものの順調な加速を見せ、津田塾の短距離選手を追い抜く走りでゴール。52"70で1位となり、対校戦優勝を決めた。

専門種目外にまたがる女子の活躍は京大戦に繋がる重要なポイントであり、中距離から2人が出場する厳しいレースながら勝負どころで勝ちきることができたことは、大きな意味をもつ。少数ながら先鋭を貫き、結果を

出したことは、男子を含めた部全体を鼓舞するものとなった。

### **15:30 男子4×400mR 決勝**

5レーンに阿久津(2年)-小嶋(3年)-岩崎(1年)-河野(4年)のオーダーで出場。マイルでの対校選手は初となる阿久津と岩崎を起用したフレッシュなメンバーで臨む。

1走阿久津は100mでのスピードを生かし、前半から快調に飛ばし、内側の選手を引き離す。後半は少し疲れが見え、一橋の選手に差を縮められるも、最後まで粘り、やや遅れをとるもほぼ同時にバトンパス。2走小嶋は400mで優勝した実力を見せつけ、300m手前あたりまで先行されるも、最後にかわし、差を広げ3走の岩崎にバトンをつなぐ。岩崎はゆったりとした大きなフォームで、最後まで安定した走りを見せる。自己新相当のラップで走りきり後ろとの差を広げる。4走河野はいつもの快走で危なげなく一着でゴール。タイムは3'22"57だった。4点を獲得し、有終の美を飾った。

### ◎フィールド種目

#### **10:30 男子円盤投 決勝**

円盤投には、土井(4年)、佐竹(3年)、八木澤(3年)の出場。8月にしては気温が低めで、記録の更新が期待されるコンディションであった。

1投目、八木澤はリラックスしたフォームで23m84を投げる。土井はまだまだ伸ばしそうな様子で31m26を記録した。佐竹は勢いあまってサークルを出てしまい、ファールとなってしまった。2投目は八木澤が軌道が低くなってしまったが27m62を記録した。土井は伸び上がるような軌道で30m72を記録する。佐竹は力が円盤に上手く伝わり33m47を記録する投擲を見せる。3投目は八木澤はバランスを崩しネットに当ててしまいファールとなってしまった。土井も同様に右のネットに当ててしまいファールとなる。佐竹は円盤に綺麗に回転がかかり自己ベストを更新する34m79を投げ、一位を確実にする。結果、佐竹が1位土井が3位八木澤が6位となり決勝進出となった。

決勝では、佐竹の4投目は軌道が低くなってしまって30m57となり、5、6投目もファールで記録を伸ばせなかった。土井の4投目は軌道が上がりすぎて29m73で、

5投目は綺麗な軌道で30m41を記録した。6投目はネットに当ててファールとなってしまった。八木澤は4投目は軌道が低くなり記録を伸ばせず、5投目は軌道は修正できたが、円盤に力が加わらなかった。6投目はネットにぶつけてしまい、決勝で順位を上げられなかった。

最終的に佐竹が34m79で1位、土井が31m26で3位、八木澤が27m62で6位となった。佐竹は今後も記録更新が期待される内容であった。土井も得点を稼ぎ、チームを助けた。八木澤も今後期待である。

#### **11:25 男子砲丸投 決勝**

男子砲丸投には加藤(4年)、土井(4年)、佐竹(3年)の出場。今季3人は砲丸投の調子が良いので、円盤投と連続で出場となった土井と佐竹は疲れているだろうが、少なくとも10m中盤を投げて3人で1、2、3位を取ることが期待された。3投目まで、一橋の選手の調子があまり良くなさそうな中、佐竹は9m57、ファール、10m10と十分に実力は発揮出来なかったが徐々に内容を改善して3番手に、加藤は10m16、10m28、ファールと安定した内容で2番手、土井は1投目から10m45を投げ、2.3投目で伸ばせなかったが1番手につけた。4投目からもう少し伸ばしておきたい3人だか、4投目以降佐竹は10m44、10m53、ファールと記録を伸ばして2位、加藤は10m72、ファール、10m36と伸ばして1位、土井はファール、ファール、10m14と1投目の記録から伸ばせず3位となった。期待通り3位までを固めることに成功したが、京大戦ではさらに記録が求められるのでより強くなる必要があるだろう。

#### **11:25 女子砲丸投 決勝**

女子砲丸投は内山(2年)のみの出場。普段練習時間が取りづらい中、持ち前の力を活かして試合中に記録を伸ばし1位を取ることが期待された。

1投目まずまずの投擲で7m30を記録し、ひとまず津田塾の選手に対して優位に立つ。2投目以降さらに記録を伸ばしたい内山だが、砲丸が押したい方向に対して上に抜けてしまう傾向があり、4投目まで上手く記録を伸ばせない。5、6投目では上手く砲丸投を押せた様子で、7m64、7m59とベストを更新して7m64で優勝した。まだ素直な投擲で記録は伸びると思われるので、京大戦に

向けてさらなる成長に期待したい。

### 12:20 男子走幅跳 決勝

1番に藤原(2年)、3番に栗原(1年)、5番に木下(3年)の出場。合宿明けで疲労が抜けきっていない状況だったが、好天候のおかげか体はよく動いており記録が期待された。

1本目は木下が7m07を跳ぶも、藤原と栗原はともに足が合わずファールとなる。続く2、3本目は木下と藤原はともにファール、栗原も足が合わず記録を残すことができない。出場人数が6人のため、全員がベスト8に進んだ。4本目は木下がファールしたものの、藤原と栗原が足を合わせそれぞれ6m36、6m80を跳ぶ。5本目は栗原が6m98の自己ベストを跳び、藤原も6m45に記録を伸ばす。木下はまたもファール。6本目は木下と藤原はファールとなり、栗原も助走が合わず競技は終了となった。結果、木下が1位、栗原が2位、藤原が5位で7点を獲得した。

今回は合宿の疲れもあった中ではまずまずの結果となったと言えるだろう。しかし、京大戦で勝つための力は十分とは言えず、ここから一ヶ月さらなる強化に期待したい。

### 12:20 女子走幅跳 決勝

坪浦(4年)、内山(2年)の出場。日差しの強かった午前中とは異なり、涼しく競技に集中しやすいコンディションとなった。坪浦は今回が走幅跳初出場。他種目への挑戦、そして点数獲得のための挑戦であった。一方の内山は、100mと砲丸に出場後の競技となった。

1本目では、内山は板を踏まずに5m19と記録を残す。一方の坪浦は、走幅跳という競技自体が初めてであったためか、まともに踏み切れず、2m88であった。出場人数の関係から、この時点で坪浦が3点以上獲得することは確定したため、坪浦は残りの試技を全てパスし、競技を終えた。内山は、2本目、3本目では跳躍が上手くまとまらず、5m17、5m25といまひとつであった。この時点で内山は5m25の一位、坪浦は2m88の四位で残り3本の跳躍に入る。坪浦は残り3本をパスした。一方の内山は、4本目に助走が上手くはまり、大会記録となる5m42に記録を伸ばし、優勝を確実なものとした。以降

の2本は振るわなかったものの、津田塾大も5m02にとどまり、内山が5m42の1位、坪浦が2m88の4位で競技を終えた。

内山は今回の対校戦ではリレー合わせて4種目の出場であり、合宿の疲れもある中での試合であったが、安定した跳躍を見せた。一方の坪浦は、記録だけ残した形であったが、この3点のおかげで、女子は総合優勝を果たした。この挑戦は、京大戦の勝利に必要である、専門種目以外での点数獲得を目指した挑戦であった。しかし現状の記録では京大戦での点数獲得は厳しい。が、坪浦の潜在能力ならば、残り1月での成長も十分可能であろう。共に多種目エントリーに挑戦している内山と一緒に、さらなる飛躍を楽しみにしている。

### 13:25 男子やり投 決勝

八木澤(3年)、中村(1年)、石田(1年)の出場。一橋大学は60mスローワーである矢部選手を擁しており、東大の3名は2、3、4位の獲得が期待されていた。

石田の投擲。練習投擲から槍先が上を向いてしまっており、1、2投目はそれを修正できずに36m38、38m41に終わる。3投目は助走が乱れファール。4投目で修正し41m57。しかしそこから記録を伸ばせずにこの記録で5位となった。

最近好調の中村は1投目でUBとなる44m16を記録し、続く2投目も44m台を記録。3投目も無駄のない軌道で槍を飛ばせており、調子の良さを感じさせた。5投目にはPBとなる47m44を記録し2位に躍り出た。最終的にはこの記録で3位となった。

八木澤の投擲。練習投擲では良い投擲を見せたが、3投目までで2度のファール。4投目は良い投擲であったが助走がかみ合わずファール。5投目に記録した47m69で2位となった。

結果、2、3、5位で一橋大学と同じく5点獲得となった。中村のPB更新は大きな収穫であったが、京大戦で勝つためにはより一層の底上げが必要となるだろう。

### 14:30 男子走高跳 決勝

木下(3年)が出場。強い日差しと共に高温な日が続いていたが、当日は適度な曇り空で涼しい気候であった。風も心地よくグラウンドコンディションとしては最適であ

った。直前の走幅跳で優勝を飾ったばかりの木下は走高跳でも優勝およびしばらく更新していない自己ベストの更新が期待された。

1m75 から登場した木下は 1 回目に珍しく失敗するも 2 回目で難なくクリア。続いて 1m80 も軽くクリアする。さらに 1m85 も余裕を持ってクリアする。自己ベストの更新が見えてきた。1m90 も一発を余裕でクリアするが、相手選手がここまで全て一発成功のため最初の失敗がここにきて響く。優勝のためには自己ベスト更新が必至となった。運命の 1m95。応援席にも熱が入る中、力強い助走から綺麗な跳躍を見せ、一発で成功する。この跳躍により木下は期待に応え見事優勝を決めた。続いて夢の 2m 台への挑戦。1 本目、木下の背中美しくバーを超えていったかに思われたが惜しくも着地後にバーが落下する。2 本目も失敗し最終跳躍に挑むが 3 本目もバーを超えることはできなかった。

見事 2 種目での優勝を飾ると共に長らく更新されていなかった自己ベストを更新し 2m 台も完全に視界にとらえた非常に内容の良い試合であった。高跳び選手が不足している中より一層の活躍が期待される。

### 3. 選手の言葉

#### 短距離 1 年 岩崎誠倫 (4×400mR)

一橋戦対校4×400mRに出場させていただきました、短距離1年の岩崎です。

今回ロンドンを除くと初めて対校選手としてリレーメンバーに入れていただきました。当日になるまで自分が走るかどうか決まっていなかったのですが、マイルを走る心構えはできていました。最低でもラップで50秒台を出すことを目標にしていました。

そして当日、自分が3走としてマイルを走ることが決まりました。マイルの開始が午後3時30分と午前のオープン100mからかなり時間が経っていたので、入念に動きづくりや流しを行い、コンディションを作りました。この時間になると空が曇り、涼しく走りやすい気候になっていました。

レース前は緊張しましたが、スタート前の流しのときからたくさん応援してもらってだんだん楽しくなってきました。

ました。走っている間もトラックの各所から応援してもらって楽しく走ることができました。また対校選手としてこの雰囲気の中かで走りたいと強く思いました。自分の走りも現時点の自分の力としては満足できるものになって、しっかりバトンを繋げることができて安心しました。

今後は課題であるスプリント力を改善し、また対校選手に選んでもらいさらにいい走りをするを目標とします。今後ともご指導、ご声援のほどよろしくお願い申し上げます。

#### 短距離 2 年 松田光陽 (110mH)

今回、110mHに出場させていただきました。短距離2年の松田です。110mHは高校時代に出たことがなく、大学になって挑戦した種目でした。先日のロンドンにて行われた対校戦が初レースで、16秒18とこれからの伸びが期待できました。

一橋戦での目標は少なくとも15秒台を出すことでした。合宿での疲れ、直前の練習では足底を痛めるなどコンディションはあまり良くありませんでしたが、それらを考慮しても出す自信はありました。

実際の試合は流しをするのも違和感があったため、本来出場予定だったマイルは変わっていただきトッパー一本に専念することにしました。

まだ試合経験が少なかいせいか、最初の3台目まで大きくよるけ、そこからは修正しましたが、村井との差を縮めることはできず、2位に終わってしまいました。タイムも16秒12と最低限掲げた目標を達成することができませんでした。

今回の試合を経てまだまだ伸びそうな手応えを感じたので、これからの秋のシーズンは、タイムを上げられるだけ上げて、来シーズンの関カレ標準突破に向けて練習していきたいと思います。

#### 中距離 3 年 堀越美菜 (4×100mR)

4×100mRの1走を務めさせていただきました。中距離3年の堀越です。もともと走る予定だった選手が怪我

のため走れないことになり、前日に出場が決まりました。  
2走の坪浦さんとは走力差があり、またバトン練習もほとんどできていなかったことから、確実にバトンが渡るような安全策を取ることにしました。

女子の対校種目は4×100mRが最終種目でした。今年津田塾大との2校対校となってしまう、この種目で勝った方が総合優勝するという、非常にプレッシャーのかかる状態でレースを迎えました。

自分は普段1500m, 3000mの練習をしていることもあってトップスピードが遅く、2走にバトンを渡す時点では津田塾大から大きく遅れてしまいました。しかしここでミスなくバトンを確実に渡すことができ、自分の最低限の仕事はしたと思っています。続く2,3,4走の選手が圧倒的な速さで自分の遅れを取り戻す走りをしてくれたため、ゴール直前に僅差で勝つことができました。

個人的な話をさせていただくと、今回4×100mRに出場させていただいたことでトップスピードの遅さを痛感しました。中長距離選手でもスピードはとても大事ですし、女子部員が少ない現状で今後いつでも4×100mRに対応できるように、スピードを磨いていくような練習を取り入れようと思います。専門外の種目でしたが、今後の自分の競技力向上の手掛かりを得られたこと、そして何より東大の勝利に貢献できたことを嬉しく思います。

応援などありがとうございました。

## 跳躍2年 村井輝 (110mH)

男子対校110mHに出場させていただきました、跳躍・混成2年の村井輝です。

110mHでの対校は六大戦、七大戦に続き3度目でしたが、いままでの2大会では1点もとることが出来なかったため、今回の一橋戦ではしっかり勝って点を部に持って帰ることを第一に、そして出来れば15秒台中盤を、と考えて臨みました。

当日は合宿や直前に出場した100mOPの疲労で非常に体が重く、また痛めていた右すねの不安もあったので、記録を狙うことは諦め、安全に1位をとりにいくことにしました。結果7台目あたりで右すねに少し痛みが出てリズムを崩し、8台目以降浮いてしまったものの、特に大きな

失敗はなく資格記録通りしっかり1位をとって4点を部に持ち帰ることができました。

今回の試合に限っていえば最低限の仕事はできましたが、次の目標となる京大戦をはじめ、もう少しレベルの高い大会で点を取ってくるには15秒台中盤は最低でも必要になると思います。京大戦まで残り1月と残された時間は短いですが、ぎりぎりまであがいて上位に食い込めるよう頑張りたいと思います。まだまだ実力不足ではありますが今後とも応援よろしくをお願いします。

## 跳躍1年 栗原怜也 (走幅跳)

男子対校走幅跳に出場させていただきました。跳躍1年の栗原です。

合宿の途中で膝裏とハムストリングに違和感を覚えたためしばらく安静にしていた、ほぼ一週間スパイクを履かないまま試合を迎えました。

当日は意外にも体は動いていたものの、脚の違和感が残っていたので軽めにアップを済ませました。試合では助走のリズムが崩れてしまい3本目までは記録が出ませんでした。しかし4本目で足が合い、5本目でいい感覚の跳躍ができ10cm自己ベストを更新しました。

体の状態が良くない中での試合だったのでまだまだ記録は伸ばせません。関東インカレのA標準突破に向け、練習を積んでいきます。

## 投擲1年 中村優太 (やり投)

男子対校やり投げに出場させていただきました、投擲1年の中村優太です。これまで何度か対校選手として試合に出させていただきましたが、毎回記録は42m~43mと奮わず一度も高校時代のPBである45m66を更新することができませんでした。ただ夏休みの練習で調子が良かったため、今回は絶対にベストを更新するつもりで臨みました。試合では助走スピードを上げつつ、やりを上下にブレさせないことを意識しました。そのためやりは綺麗な軌道で飛んでくれたものの、いまひとつ力が伝わらない感覚がありました。そこで左足のブロックを早めにつくことを意識してみたところ、リリースの瞬間、腰がピンと張った感覚があり、これはいったな！と思いま



した。記録は自己ベストを大幅に更新する 47m44 でした。この感覚を再現できるよう練習し、京大戦では 50m を投げて得点に絡みたいと思います。応援よろしくお願ひ致します。

## 4. 試合結果

### 第 59 回一橋大学・東京大学対校陸上競技大会

#### 男子 100m 決勝(+0.1)

1	小口 智毅	一橋大	10"74
2	聲高 健吾	東大	11"25
3	浅沼 優斗	一橋大	11"26
4	阿久津 大貴	東大	11"27
6	影山 優輔	東大	11"48

#### 男子 400m 決勝

1	小嶋 健太郎	東大	50"29
2	河野 太郎	東大	50"75
3	長久 将	東大	51"36
4	松原 息吹	一橋大	51"53

#### 男子 1500m 決勝

1	近藤 秀一	東大	4'00"88
2	栗田 寛樹	一橋大	4'02"46
3	柿沼 拓也	一橋大	4'03"04
4	小野 康介	東大	4'03"74
6	長谷川 祐輝	東大	4'17"70

#### 男子 5000m 決勝

1	近藤 秀一	東大	15'17"87
2	阿部 飛雄馬	東大	15'28"27
3	柿沼 拓也	一橋大	15'30"45
4	高島 良平	一橋大	15'36"02
5	栗山 一輝	東大	15'46"73

#### 男子 110mH 決勝(0.0)

1	村井 輝	東大	16"05
2	松田 光陽	東大	16"12
3	阿保 朗楽	一橋大	16"17

4 池野 和 一橋大 16"88

5 中島 盛喜 東大 16"97

#### 男子 4×100mR 決勝

1	一橋大	太田—浅沼—恒松—小口	41"75
2	東大	阿久津—聲高—影山—村井	42"35

#### 男子 4×400mR 決勝

1	東大	阿久津—小嶋—岩崎—河野	3'22"57
2	一橋大	池野—松原—若林—上村	3'25"43

#### 男子走幅跳 決勝

1	木下 秀明	東大	7m07(+1.3)
2	栗原 怜也	東大	6m98(+0.6)
3	小口 智毅	一橋大	6m83(0.0)
4	阿保 朗楽	一橋大	6m54(+0.3)
5	藤原 暉	東大	6m45(+1.0)

#### 男子走高跳 決勝

1	木下 秀明	東大	1m95
2	中山 直史	一橋大	1m90
3	池野 和	一橋大	1m75
4	阿保 朗楽	一橋大	1m70

#### 男子砲丸投 決勝

1	加藤 輝仁	東大	10m72
2	佐竹 俊哉	東大	10m53
3	土井 雅人	東大	10m45
4	山口 航平	一橋大	9m78

#### 男子円盤投 決勝

1	佐竹 俊哉	東大	34m79
2	矢部 尚史	一橋大	31m82
3	土井 雅人	東大	31m26
4	小口 智毅	一橋大	28m97
6	八木澤 光大	東大	27m62

#### 男子やり投 決勝

1	矢部 尚史	一橋大	63m96
2	八木澤 光大	東大	47m69

3	中村 優太	東大	47m44
4	阿保 朗楽	一橋大	44m56
5	石田 駿平	東大	41m57

### 第15回東京三大学女子対校陸上競技大会

#### 女子100m決勝(+0.8)

1	尾山 智沙	津田塾	12"87
2	内山 咲良	東大	12"87
3	坪浦 諒子	東大	13"30
4	森畑 愛	津田塾	14"05

#### 女子400m決勝

1	坪浦 諒子	東大	58"61
2	尾山 智沙	津田塾	1'02"09
3	池内 優希	津田塾	1'10"08

#### 女子1500m決勝

1	高石 涼香	東大	4'43"83
2	藤原 ゆか	東大	4'59"88
3	笹木 晴奈	津田塾	5'02"56
4	池田 彩夏	津田塾	5'28"04

#### 女子4×100mR決勝

1	東大	堀越—坪浦—内山—高石	52"70
2	津田塾	池内—尾山—山下—森畑	52"79

#### 女子走幅跳 決勝

1	内山 咲良	東大	5m42(+1.2)
2	森畑 愛	津田塾	5m02(+0.6)
3	市居 理沙	津田塾	4m20(+0.1)
4	坪浦 諒子	東大	2m88(0.0)

#### 女子砲丸投 決勝

1	内山 咲良	東大	7m64
2	山下 彩花	津田塾	7m15
3	市居 理沙	津田塾	6m15

## 5. 自己記録更新者一覧

### 8/5.6 第12回 N.S.S.U.オープン競技会

800m	八ツ本真司(2年)	2'02"44
1500m	藤原ゆか(3年)	4'57"03
三段跳	毛利冬悟(3年)	13m83(+1.6)

### 8/5,6 第60回東日本医科学生総合体育大会

100m	内山咲良(2年)	12"72(+0.6)
100mH	内山咲良(2年)	15"89(+1.8)
走高跳	内山咲良(2年)	1m54
ハンマー投	佐竹俊哉(3年)	17m69

### 8/6 東京大学・京都大学 vs アキレスクラブ

やり投	村井輝(2年)	44m33
-----	---------	-------

### 8/27 第59回一橋大学・東京大学対校陸上競技大会兼第15回東京三大学女子対校陸上競技大会

100m	木崎健太(1年)	11"60(+0.1)
100m	斎藤嘉紀(3年)	11"74(-0.6)
1500m	小野康介(2年)	4'03"74
1500m	古賀淳平(2年)	4'16"32
走幅跳	栗原怜也(1年)	6m98(+0.6)
三段跳	平井智史(2年)	13m63(0.0)
走高跳	木下秀明(3年)	1m95
棒高跳	寶田雅治(4年)	4m00
砲丸投	内山咲良(2年)	7m64
円盤投	佐竹俊哉(3年)	34m79
円盤投	八木澤光大(3年)	27m62
やり投	中村優太(1年)	47m44

## 6. 2017年度 部内五傑

(順位 氏名 (学年) タイム 日付)

### 男子100m

1	聲高健吾(1年)	10"83(+0.4)	7.1
2	阿久津大貴(2年)	10"85(+0.8)	7.30
3	河野太郎(4年)	10"96(+1.0)	5.7
4	井上昂(1年)	11"02(+0.9)	7.30

5 平木基人(3年) 11"21(+0.7) 7.1

**男子 200m**

1 聲高健吾(1年) 21"58(+1.7) 5.27  
 2 河野太郎(4年) 21"61(+0.6) 5.27  
 3 阿久津大貴(2年) 22"48(+1.5) 7.1  
 4 長久将(4年) 22"64(+1.0) 6.17  
 5 後藤裕瑛(4年) 22"95(-0.8) 6.4

**男子 400m**

1 河野太郎(4年) 49"85 4.8  
 2 小嶋健太郎(3年) 49"92 7.1  
 3 長久将(4年) 50"28 7.1  
 4 松田光陽(2年) 50"79 6.4  
 5 寶田雅治(4年) 51"20 5.26

**男子 800m**

1 小野康介(2年) 1'55"52 7.30  
 2 坂口諒(3年) 1'55"63 4.8  
 3 早川航平(4年) 1'57"45 6.3  
 4 妹背雄太(4年) 1'57"48 4.30  
 5 伊藤龍一郎(3年) 1'58"47 6.3

**男子 1500m**

1 近藤秀一(3年) 3'53"75 4.8  
 2 妹背雄太(4年) 3'59"68 4.8  
 3 小野康介(2年) 4'03"74 8.27  
 4 渡部慎也(2年) 4'07"94 6.3  
 5 長谷川祐輝(3年) 4'12"85 7.29

**男子 5000m**

1 近藤秀一(3年) 14'43"64 6.17  
 2 阿部飛雄馬(2年) 15'08"07 7.30  
 3 松本啓岐(4年) 15'08"84 6.4  
 4 栗山一輝(2年) 15'17"27 6.4  
 5 妹背雄太(4年) 15'47"42 4.23

**男子 10000m**

1 近藤秀一(3年) 29'16"49 5.25  
 2 阿部飛雄馬(2年) 31'12"74 4.22

3 松本啓岐(4年) 31'21"69 4.22  
 4 田村和也(4年) 32'43"71 4.22  
 5 須藤克誉(4年) 34'11"89 3.26

**男子 110mH**

1 杉森康平(8年) 15"88(+1.6) 6.17  
 2 寶田雅治(4年) 15"91(+0.8) 6.17  
 3 村井輝(2年) 16"03(+1.3) 4.8  
 4 松田光陽(2年) 16"12(0.0) 8.27  
 5 中島盛喜(4年) 16"61(+1.7) 5.7

**男子 400mH**

1 松田光陽(2年) 56"58 7.1  
 2 寶田雅治(4年) 56"65 7.1  
 3 中尾幸志郎(2年) 60"08 6.4  
 4 今井樹宏(4年) 61"21 7.30

**男子 3000mSC**

1 阿部飛雄馬(2年) 9'35"80 7.30  
 2 栗山一輝(2年) 9'50"93 7.1  
 3 肱岡佑(3年) 9'52"18 3.25  
 4 妹背雄太(4年) 9'52"76 3.25  
 5 大庭帆貴(1年) 10'08"25 7.1

**男子 5000mW**

1 渡邊成陽(5年) 20'52"99 7.1  
 2 棟重賢治(4年) 21'08"55 6.17  
 3 堀江駿(3年) 21'49"77 6.17  
 4 千菊智也(1年) 22'20"08 7.30

**男子 10000mW**

1 堀江駿(3年) 44'39"77 5.27  
 2 棟重賢治(4年) 46'00"02 5.27

**男子 4×100mR**

1 阿久津(2)-聲高(1)-河野(4)-長久(4)41"27 5.25  
 2 井上(1)-聲高(1)-河野(4)-竹井(D2)41"43 7.1  
 3 井上(1)-聲高(1)-影山(2)-阿久津(2)41"52 7.30  
 4 井上(1)-阿久津(2)-影山(2)-渡辺(3)42"19 6.17

5 阿久津(2)-聲高(1)-影山(2)-村井(2)42"35 8.27

### 男子 4×400mR

1 小嶋(3)-河野(4)-兄井(4)-長久(4) 3'17"45 7.30  
 2 小嶋(3)-河野(4)-松田(2)-長久(4) 3'19"22 5.27  
 3 小嶋(3)-河野(4)-松田(2)-長久(4) 3'21"14 7.1  
 4 阿久津(2)-小嶋(3)-岩崎(1)-河野(4)3'22"57 8.27  
 5 松田(2)-長久(4)-伊藤(2)-加藤(3) 3'23"50 6.17

### 男子走幅跳

1 木下秀明(3年) 7m18(-1.5) 4.6  
 2 栗原怜也(1年) 6m98(+0.6) 8.27  
 3 草野恒平(4年) 6m83(+1.4) 7.1  
 4 藤原暉(2年) 6m79(-0.6) 4.6  
 5 三宅功朔(2年) 6m58(+1.9) 8.6

### 男子三段跳

1 木下秀明(3年) 14m88(-0.3) 5.27  
 2 平木基人(3年) 14m38(-0.3) 7.30  
 3 原澤龍平(2年) 13m97(+0.8) 7.30  
 4 毛利冬悟(3年) 13m83(+1.6) 8.5  
 5 平井智史(2年) 13m63(0.0) 8.27

### 男子走高跳

1 木下秀明(3年) 1m95 8.27  
 2 赤塚智弥(2年) 1m90 6.17  
 3 寶田雅治(4年) 1m65 3.18  
 4 村井輝(2年) 1m60 5.6

### 男子棒高跳

1 三宅功朔(2年) 5m10 7.16  
 2 寶田雅治(4年) 4m00 8.27  
 3 村井輝(2年) 3m30 5.6

### 男子砲丸投

1 土井雅人(4年) 11m33 7.30  
 2 加藤輝仁(4年) 11m21 6.17  
 3 佐竹俊哉(3年) 10m97 7.30  
 4 村井輝(2年) 9m54 5.6  
 5 山之内良太(4年) 9m29 6.17

### 男子円盤投

1 佐竹俊哉(3年) 34m79 8.27  
 2 土井雅人(4年) 31m80 7.30  
 3 山之内良太(4年) 29m93 6.17  
 4 八木澤光大(3年) 27m62 8.27  
 5 寶田雅治(4年) 23m86 3.19

### 男子やり投

1 加藤輝仁(4年) 50m86 7.30  
 2 八木澤光大(3年) 49m22 7.1  
 3 中村優太(1年) 47m44 8.27  
 4 村井輝(2年) 44m33 8.6  
 5 石田駿平(1年) 42m69 6.17

### 男子ハンマー投

1 加藤輝仁(4年) 31m89 7.29  
 2 佐竹俊哉(3年) 17m69 8.5

### 女子 100m

1 内山咲良(2年) 12"72(+0.6) 8.5

### 女子 400m

1 坪浦諒子(4年) 58"40 7.30  
 2 高石涼香(3年) 59"44 7.1

### 女子 800m

1 高石涼香(3年) 2'11"23 7.23  
 2 荒木玲(3年) 2'32"84 7.30

### 女子 1500m

1 高石涼香(3年) 4'43"83 8.27  
 2 藤原ゆか(3年) 4'57"03 8.5  
 3 荒木玲(3年) 5'21"41 3.26  
 4 堀越美菜(3年) 5'37"55 4.22

### 女子 3000m

1 高石涼香(3年) 10'15"39 7.30  
 2 藤原ゆか(3年) 10'57"21 7.30

**女子 5000m**

1 堀越美菜(3年) 21'09"97 3.18

**女子 100mH**

1 内山咲良(2年) 15"89(+1.8) 8.5

**女子 400mH**

1 坪浦諒子(4年) 61"94 7.23

**女子 4×100mR**

1 荒木(3)-坪浦(4)-内山(2)-高石(3) 51"23 7.30

2 堀越(3)-坪浦(4)-内山(2)-高石(3) 52"70 8.27

**女子 4×400mR**

1 堀越(3)-荒木(3)-藤原(3)-高石(3) 4'35"34 7.1

**女子走幅跳**

1 内山咲良(2年) 5m41(+1.8) 6.17

**女子走高跳**

1 内山咲良(2年) 1m54 8.5

**女子三段跳**

1 内山咲良(2年) 11m43(+1.4) 7.1

**女子砲丸投**

1 内山咲良(2年) 7m64 8.27

**7. 2017年度 東大記録更新者一覧**

(種目 氏名(学年) タイム 日付)

800m 高石涼香(3年) 2'11"23 7.23

10000m 近藤秀一(3年) 29'16"49 5.25

三段跳 内山咲良(2年) 11m43(+1.4) 7.1

**8. 主務より****8.1 応援OB・OG紹介**

応援OB・OG紹介

8/27に一橋大学西キャンパス陸上競技グラウンドで行われました、第59回一橋大学・東京大学対校陸上競技大会兼第15回東京三大学女子対校陸上競技大会に際し、応援に駆けつけてくださったOB・OGの方のご氏名をご卒業年順に報告いたします。(敬称略)

昭和44年卒 池田元美

昭和51年卒 田上静之

昭和54年卒 中谷敬二

昭和58年卒 牛村圭

昭和58年卒 八田秀雄

昭和61年卒 藤村陽

平成3年卒 小野満

平成17年卒 藤田靖浩

平成27年卒 荒井太弥能

平成28年卒 小西慶治

平成28年卒 小南直翔

平成29年卒 織原健人

平成29年卒 加藤騎貴

平成29年卒 坂出竜弥

平成29年卒 福島洋佑

平成29年卒 福永大輔

平成29年卒 森本淳基

暑い中、たくさんの方々が応援に駆けつけてくださいました。部員一同、心より御礼申し上げます。

**8.2 行事予定**

今後の行事予定をお知らせいたします。

9.8(金)~9.10(日) 全日本I.C. @福井

9.30(土) 京大戦@駒場

10.14(土) 箱根駅伝予選会@立川

### 8.3 連絡先

慶弔のご連絡は下記連絡先までお願い申し上げます。

総務委員長：斎藤誠二
TEL : 03-5370-9370
Mail : Seiji_Saito@suntory.co.jp
学生主務：後藤裕瑛
〒240-0046 神奈川県横浜市保土ヶ谷区仏向西 22-3-914
TEL : 070-6573-6935
Mail : shumu@uttf.org
学生主務補：富原健太
Mail : uttf.shumuho@gmail.com

部便り郵送不要の方は、お手数ですが学生主務補までご連絡下さい。

この部便りは陸上運動部ホームページ内の「OBOG 向け」からもご覧になれます。

URL : <http://www.uttf.org>

学生主務 後藤裕瑛

部便りに関するご意見、ご感想は部便り主任の須藤までお送り下さい。

部便り主任 須藤克誉

(Mail: uttfdyri2017@gmail.com)